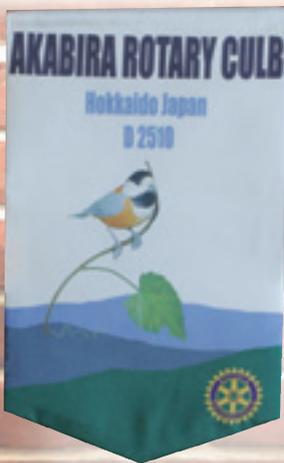


2013-2014 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

3



国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度ガバナー 安孫子 建雄

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES



国際ロータリー第2510地区 2013-14年度 行動指針

- I 大震災復興への支援事業継続
- II R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- III クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り
 会員の維持増進につなげよう
- IV グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう
 対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

CONTENTS

目次	ガバナーメッセージ	1
	日台ロータリー親善会議に参加して	2
	「2013-2014福島キッズキャンプ I N北海道冬編 ~飯舘村キッズのさっぽろ雪まつり」報告	4
	ガバナー補佐会議報告	6
	フィリピン台風災害復旧支援義援金の御礼	7
	ロータリー活動の公共イメージ向上作戦について・ 米山寄付・ロータリー財団寄付	8
	2013-2014 R Y L A セミナーご案内	9
	新会員のご紹介・訃報・文庫通信	10
	地区カレンダー	11
	出席率・会員数	12



識字率向上の目指すもの

国際ロータリー第2510地区

2013-2014年度ガバナー **安孫子 建 雄**
(江別RC)

私達の日本ではみんなが字を読み書きできる事になっています。

しかし世界では読み書きが出来ない人が大勢います。

ロータリーでは識字率を向上させようと事業を行なっています。

1月にはタイでの奉仕事業の検証を行なってきました。その中で学校での図書館整備や図書への寄贈がありました。タイの村々では日本の学校のような姿は見えません。学校の雰囲気は少し違って見えました。

しかしそこで学ぼうとする子どもたちの明るい笑顔は忘れられません。

学校に通うことが困難な地域や、戦乱で学ぶ手段を失っている国、貧しさゆえ子供が働かざるをえないところなど、子供たちの教育環境は様々です。

グローバルな経済を押し進めようとする反面、社会インフラの格差はなくならないのが世界の現実です。

教育の基本になる子どもたちの読み書き能力は必ず身につけさせたいと思います。子供が学校で本を読めることが、おうちに帰って親の識字に役に立っている事を聞いたことがあります。

今の時代人々のコミュニケーション能力が落ちてきたのではとされます。

識字率の低い国がある一方、十分読み書きのできる社会がありますが、読み書きができることが当たり前になり人々の意思疎通に苦労しなくなると様々な混乱が生まれます。

ITの進歩は目から入る情報(光、音など)のみで用が足りるところへ向かっています。言葉や字の読めない乳幼児は物事をパターンで認識しているようです。言葉は後からついてくるみたいです。

しかし文字の力は計り知れません。言葉を話し字を読むようになると急速に知恵が開花します。

人間の能力は生まれた時にはそれぞれ違いはないと思います。しかし言葉に出会い字を使うようになって人の能力が発揮されるようになります。

識字率の向上の目指すものは人々のコミュニケーション力を高め、考える力をつけ、互いの理解が深まることではないでしょうか。

情報技術が発達する中、自ら「読み書きソロバン」のちからをつけなければ、人任せの情報に踊らされます。

「深読み」という言葉があります。単純な言葉の理解の更の上に行くことかと思えます。

世界中で識字率を高め人々は共通の理解能力をつけ、自らの生きる能力を高めて幸せで豊かな生活を実現できることが平和につながることを信じます。

参 考 識字率向上は貧困の悪循環を断ち切るカギ シスター・エセル

(2006年6月12日・国際ロータリー年次大会基調演説より)

3月は識字率向上月間(Literacy Month)

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結する、という観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人々を援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。今回、国際ロータリーは、世界的な識字推進団体・国際読書協会と協力し合い、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを、開発中です。

ユネスコ(国連教育科学文化機関)によると、世界で9億人以上の人々は読み書きができません。その3分の2は女性です。成人、そして子どもに向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。なお、2006-07年度から、識字率向上月間は3月に変更になりました。

※2005-06RI理事会第1回会合(7月)の決定により変更になりました

P. ハリスは言っています

ロータリーは人道的であり続けるでしょう。しかし、それだけではありません。人道的行為が必要とされるような原因を取り除くでしょう。



日台ロータリー親善会議に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **羽 部 大 仁**
(札幌南RC)

去る1月26日(日)午後2時から台北市圓山大飯店において開催された、第4回日台ロータリー親善会議に娘と一緒に参加して来ました。

この親善会議は、2008年5月12日に東京に於いて開催されたのを皮切りに、隔年に一度相互で開催し今回は4回目を迎えています。日本から400名、台湾から350名が参加され盛大に開催されました。日本と台湾の両国は歴史的・文化的・地



理的に大変近い関係にあり、この友情溢れる交流が世界平和に貢献するような良い印象を持ちました。(2016年6月5日金沢市で第5回親善会議開催予定)

特に日本は2011年3月11日に東日本大震災に見舞われました。その折に台湾のロータリークラブから多額の義援金をお送り戴いたのは記憶に新しい事でもあります。この義援金が基礎になり、日本の青少年・とりわけ高等教育を受けようとする子供達に「ロータリー希望の風奨学金」が現在累計6億円を超えて、遺児奨学生の140名に支給されています。



洪俊梁氏(洪學梁PDGご子息)と一緒に九份訪問

この事業の陰には、2009年8月8日台湾南部の災害の折、日台親善会議を通じて、多額の義援金が台湾の被災地に避難家屋の建築に充てられ、感謝されているそうです。又昔烏山頭ダム建設者である八田与一氏の偉業を讃えて八田記念館が再建されたと聞いて、台湾の方々には義を重んじる人々だと痛感致しました。

台湾訪問には3つの不思議な出会いがありました。その一つはRI会長エレクト、ゲイリーC.K.ホァンさんご夫妻にお会いするためでした。それは国際協議会での話ですが、

「台湾に来られるなら一緒に食事をしよう」と誘われたことに端を発しています。次は細川ガバナー年度の地区大会にR I 会長代理でお越しになった洪學梁PDG（第3490地区）氏と奥様とご子息（洪俊梁氏）にお会いしたこと。三つ目の出会いは、国際協議会で台湾第3490地区の洪清暉ガバナーエレクトと本会議場で隣り合わせになり、すっかり仲良くさせて戴きました。洪ガバナーエレクトからお申し出があり、{次年度「ロータリー友情交換」をしましょう} 帰国後検討中です。地区の新事業になるかも知れません。三つの不思議なご縁も無事に果たし両国の一層の友好と親善を念じて27日に帰国しました。



圓山大飯店の小籠包

振り返って考えてみますと台湾の方々は寛容で素晴らしいという印象です。本当に親日の方が多いと再認識して、ニコニコしながら帰りました。

食事に関する印象も一言コメントさせて下さい。滞在した圓山大飯店の飲茶はとても美味しい！中でも小籠包は最高です。

追加がありますのでご紹介します。台湾に向かう機内で隣り合わせた方が、土居岩生（東京お茶の水RC）ガバナー補佐（日台親善会議の理事）でした。名刺を交換すると「昨日小樽南クラブの斉田さんと話をして、参加名簿を見て羽部さんは次期のガバナーで良く知っている人と聞いていました。その方がお隣に座って下さるとは世の中には不思議なご縁がありますね！」と意気投合すっかり仲良くさせて貰いました。土居さん色々有難うございました。



右から洪學梁PDG、私、ゲイリー・C. K. ホアンR I 会長エレクトご夫妻、洪學梁PDG令夫人、娘さやか

「2013-2014福島キッズキャンプ IN 北海道冬編 ～飯舘村キッズのさっぽろ雪まつり」報告

福島キッズキャンプ IN 北海道

実行委員 出 村 知佳子
(札幌北RC)

2014年1月31日(金)～2月2日(日)、「福島キッズキャンプ IN 北海道冬編～飯舘村キッズのさっぽろ雪まつり」が開催されました。今回のこの企画は、当地区と国際ロータリー第2530地区(福島)、国際ロータリー第3340地区ノンカイRC、第3350地区バンコククロントイRC、プラ・ピンクラオ・ドヨンブリRC(タイ)のマッチング・グラントとして開催され、安孫子建雄ガバナーをトップに、福島キッズキャンプ実行委員会(松原重俊委員長、柳 孝一副委員長、清水 哲副委員長)の奉仕プロジェクト委員会を中心としたメンバーが運営を担当しました。



今回は、飯舘村の福島市を中心にいまだ避難中の児童17名、村役場より1名、ロータクト1名、ロータリアン1名の合計3名の付添ボランティアが福島側から参加し、合計20名が冬の北海道で雪の中様々な初めての体験をしました。



「さっぽろ雪まつりつどーむ会場」にて、雪だるま作りに挑戦、個性豊かなかわいい雪だるま群が完成し、雪まつりを訪れた多くの方に「福島キッズキャンプ IN 北海道」の私達のロータリーでの取り組み



を紹介した看板と共に多くの皆様に見て頂けるようになりました。

「サッポロさとらんど」では、札幌の地元の子供達との雪中運動会を開催し、雪の中を思い切り走り、バナナボート等冬のアクティビティーを思いきり楽しみ、地元のさっぽろキッズ達との交流も深めました。また、その夜には、当地区実行委員会主催の交流会を開催し、安孫子建雄ガバナー、遠藤秀雄財団委員長、小田切房之第5Gガバナー補佐、玉造啓子第4Gガバナー補佐、松原実行委員長ら地区内の皆さんも多く集まって頂き盛大に行われました。

美味しい料理とゲーム、飯館村キッズ全員からの一人一言メッセージで全員からの感想も聞き、雪だらけになって思い切り遊んだ、楽しかった様子が良く伝わってきました。合わせて、飯館村教育課志賀係長の飯館村への熱い思い、感謝の念、安藤元二第2530地区新世代委員長の感謝の念に、参加者全員が心を打たれました。

今回で地区の事業としては4回目、更に今年度の事業はマッチング・グラントの財団プログラムにて、地区内皆様のご理解とタイの3クラブの協力のおかげで継続して実施することが出来ました。今後も支援の力を風化させず、多くの皆さんにメッセージを伝えながら、当地区の皆さんと共に何かお手伝いをしていければ・・・改めて感じた「福島キッズキャンプ IN 北海道冬編」となりました。

支援にご理解を頂き当地区と共に協賛、御協力頂いた、飯館村教育委員会、さっぽろ雪まつり実行委員会、札幌おやじの会、札幌市白石区PTA連合会、サッポロさとらんど、元祖札幌ラーメン横丁連合会、アイチフーズ㈱、福島県人会、センチュリーロイヤルホテル、㈱産経海外旅行の皆様には心より感謝を申し上げます。

そして、各プログラムでご協力を頂きました、札幌東RC、札幌幌南RC、札幌北RC、江別西RC、小樽RC、千歳RC、千歳セントラルRCの皆様、及び企画から運営までを引き受けていただきました、「福島キッズキャンプ実行委員会」の皆様本当にお疲れ様でした。「一日中外での活動は本当に寒かったです、子供達の笑顔とご協力頂いた皆様一人一人の笑顔と熱意で、とても温かい気持ちになりました、本当にありがとうございました！」




 <主催> 国際ロータリー第2530地区・2510地区 2013-2014 <後援> 飯館村教育委員会
福島キッズキャンプ IN 北海道 冬
 「飯館村キッズのさっぽろ雪まつり」2014/1/31-

ガバナー補佐会議報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 山 田

誠
(江別RC)

2014年1月25日(土) 13:30より、シェラトンホテル札幌に於いて、安孫子建雄ガバナー、嵯峨義輝ガバナーノミニー、各地区ガバナー補佐、宮部光幸地区クラブ奉仕委員長、宇野義昭同副委員長、八島壯之地区代表幹事、各地区幹事、中川信喜地区幹事代理、吉田欣司地区財務委員長、津田政勝地区財務委員、土谷 亨地区財務委員、武田泰一ロータリーの友地区代表委員出席のもと、ガバナー補佐会議が開催されました。

八島壯之地区代表幹事の司会ではじまり、安孫子建雄ガバナーより開会挨拶及び役員紹介がなされ、引き続き各ガバナー補佐より上半期活動報告と下半期活動予定について報告がなされました。

14:50より、宮部光幸地区クラブ奉仕委員長、ならびに宇野義昭同副委員長による、「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標の集計とその効果」について、配布資料に基づいて説明がなされました。

15:20頃から、八島地区代表幹事より「SAKU」I 作戦「スケジュール確認」「財団、米山寄付」についての説明が資料に基づいて行われました。

16:05からの意見交換の後、16:20から安孫子ガバナーより、タイ国検証ツアーについてパワーポイントを使用しての説明がなされました。

最後に嵯峨義輝ガバナーノミニーによる閉会の挨拶でガバナー補佐会議が終了いたしました。

その後引き続き会場を移しての懇親会が17:00から開催され、和やかな雰囲気の中で18:30すべてのスケジュールが終了いたしました。



フィリピン台風災害復旧支援義援金の御礼

過日、文書にてフィリピン台風30号における災害復旧義援金をお願いしておりましたが、ガバナー会の口座に当地区の義援金として2,384,000円をお振込み致しました。急なお願いにもかかわらず、多額の義援金を賜りまして心より御礼申し上げます。既に赤十字等に義援金を送金されたクラブもありましたので、地区内65クラブからご入金を戴きました。

この皆様から頂戴致しました義援金は、全国の義援金取り纏め先のガバナー会に送金し、総額54,537,388円となり、水野正人第2580地区パストガバナーの紹介によりフィリピン・マニラRCに送金致しました。集まった義援金総額54,537,388円から送金手数料4,500円（銀行に支払う手数料）を差し引いた54,532,888円をドル建てにし（104.37円/USDの為替レート）、送金額はUSD 522,495.82となりました。

1月17日にマニラ市内のホテルにおいて義援金の贈呈式が執り行われ、Rudy P. BedionesマニラRC会長より御礼のメールが届いておりますので下記に紹介します。

Dear Gov. ABIKO

Yesterday, January 17, 2014 we had the Handover of the Rotary Japan Rescue Fund held at the Leyte Room of the Sofitel Hotel. Witnessing this momentous event was the Ambassador of Japan to the Philippines His Excellency Toshinao Urabe.

Also present were: Minister and Consul General Tetsuro Amano, RIDG 2580 Kenji Yoshida, RIDG 2590 Hisamaro Ichikawa, RIDG 3810 Gov. Karen Tamayo, DGN Obet Pagdanganan, Pres. Elect Frank Evaristo, AS Addie Topacio, Airene Moralista, and Hermie Esguerra the Chairman of the Yolanda Rehabilitation Committee.

PDG Masato Mizuno, the coordinator of the Rotary Japan Fund who worked so hard in facilitating this donation, was the master of ceremonies of the brief but meaningful program.

As the president of the Rotary Club of Manila I thank all the Japanese Rotarians, their Clubs and Districts for their brotherly concern and kind financial support to our people who suffered so much during the typhoon last November. My deepest gratitude goes to RIDG 2750 Ms. Isako Funaki, the Chairperson of the Governor-Kai organization.

Your donation will go a long way in funding our livelihood programs in the coastal areas of the provinces that aim to help the fishermen and other residents of the affected communities. This will allow them to resume their income-generating activities and give them back the dignity and pride to once again be productive members of society.

We shall send you progress reports as well as photos of the programs that we are, and will be, doing in the provinces.

Again, thank you very much for your support.

Sincerely,



Rudy P. Bediones
President 2013-14



ロータリー活動の公共イメージ向上作戦について

当地区はロータリーの友2月号で紹介されました、全国34地区で構成する「ガバナー会」によるロータリーの奉仕活動の広報を支援し、認知度の向上を図るための「ロータリー活動の公共イメージ向上作戦」に賛同し現在、「Doing Good in the Japan」を旗印に、地区のホームページで現在進行している代表的奉仕プロジェクトを紹介しております。地区のホームページを立ち上げるとロータリー誕生日が映し出され、続いて奉仕活動の紹介も見られるようにしています。

また、全国の大都市の繁華街などにある大型ビジョンにロータリーを広報する活動の一環として当地区では札幌駅前的大型ビジョン、大通の4プラの大型ビジョンに3月末日まで映像を流しております。

インターネットや新しい広告媒体を通じロータリーの活動を外に向かって広報し、活動に賛同する多くの仲間を増やす一助になれば幸いです。皆様も是非一度ご覧下さい。

放映予想時刻（この時刻はあくまでも目安です。若干の誤差が出る場合があります）

ビジョン放映時間：8：00～22：00

札幌駅前ビジョン(平日)	毎時 22分	12時台のみ 37分
札幌駅前ビジョン(土日祝日)	毎時 22分	12時台のみ 33分
メガ・ビジョン4プラ(平日)	毎時 12分/41分	12時台のみ 27分/43分 17時台のみ19分 /41分
メガ・ビジョン4プラ(土日祝日)	毎時 12分/41分	12時台のみ 24分/41分 17時台のみ19分 /41分



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西RC	岡崎 庚午	会員 (14回)	1月29日
小樽南RC	板垣 明	会員 (1回)	1月28日
小樽南RC	吹越 範義	会員 (5回)	1月28日

米山功労クラブ

札幌RC	31回	1月20日
札幌西RC	25回	1月29日
小樽南RC	13回	1月28日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	菊地 章	会員 (2回)	1月
札幌東RC	滝川 武彦	会員 (2回)	1月
恵庭RC	早瀬 源一	会員 (1回)	1月
函館RC	原 一彰	会員 (1回)	1月
函館RC	池見 厚一	会員 (2回)	1月
函館セントラルRC	浅野 翼	会員 (2回)	1月

ポール・ハリス・フェロー

札幌RC	中村 雅臣	会員	1月
恵庭RC	川原 光男	会員	1月
森RC	小長井 朗	会員	1月
森RC	西村 正史	会員	1月



国際ロータリー2510地区

2013-2014

RYLAセミナー

ロータリーが
企画・運営する
リーダーシップ
プログラム

《1日目》

- 札幌スポット探訪
『O.tone』(オトン)編集キャップ
和田 哲氏・監修 ●ゲーム ●懇親会など



1泊2日で 自分 新発見



《2日目》

- 講演
株JR東日本テクノハートTESSEIおもてなし創造部長
矢部 輝夫氏 ●グループディスカッションなど

RYLAとは?

RYLAはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取った略称です。日本語では、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳されています。まさにリーダー養成のためのプログラムです。

RYLAの対象となる参加者は、これまで指導的な立場で活動してきた経験者や指導者としての素質を備えた若者です。

矢部 輝夫 氏

昭和22年生れ。昭和41年国鉄に就職。運転、安全システム、輸送業務などを経て平成17年JR東日本の子会社鉄道整備株式会社へ。専務取締役として普通の清掃会社を世界が注目する企業へと変革させた。平成24年、創業60周年を機に社名を株式会社 JR東日本テクノハートTESSEIに変更。同社を紹介した本に「新幹線お掃除の天使たち」(あさ出版)がある。



参加者 募集

日時 2014年4月19日(土) 12:00 受付開始 13:00 開始

2014年4月20日(日) 17:00 記念写真撮影・解散

場所 NTT北海道セミナーセンタ 〒064-0922
北海道札幌市中央区南22条西7丁目

参加・登録料 20,000円(ロータリークラブが負担します) 参加資格 いろいろな事に興味のある 18~30歳までの男女

※応募多数の場合は選考させていただきます。

お問合せ・申し込み / 札幌総合法律事務所内 ライラ事務局

〒060-0005 札幌市中央区北5条西11丁目17-2 TEL 011-281-8448 FAX 011-281-8458

[連絡先] ●R2510地区RYLA委員長 舩田 雅彦(札幌南RC)

新 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



室蘭北R C
猪俣 英二
入会日 1月14日
職業分類 給排水設備工事業



室蘭北R C
内池 秀光
入会日 1月14日
職業分類 住宅工事業



室蘭北R C
椛澤 哲也
入会日 1月14日
職業分類 日本料理店



新札幌R C
中川 功
入会日 1月29日
職業分類 不動産管理



苫小牧R C
中屋 功
入会日 1月31日
職業分類 信用金庫



岩見沢R C
菊谷 昌泰
入会日 2月6日
職業分類 レストラン

訃 報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り申し上げます

柴崎 晃 会員

(函館北R C)



2014年1月18日ご逝去
(享年72歳)

【ロータリー歴】

2000年10月4日 入 会
2003~04年度 幹 事
2006~07年度 会 長
他、各委員長歴任

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創設された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より(2)

書 名	著者/出版元	発行年	頁
『奉仕の理想』をめぐって その2』(D. 2840月信)	本田博己	2013	4P
『『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか?』(D. 2840月信)	本田博己	2013	3P
『『職業奉仕』はロータリーの根幹か?』(D. 2840月信)	本田博己	2013	4P
「地区大会 その1~3」(純ちゃんのコーナー PartXII)	深川純一 伊丹R. C.	2013	3P
「ロータリーの歴史年表」	諏訪昭登	2013	7P
「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」	田淵水作夫	2013	69P
「あかあかや あかあかあかや」(ガバナー所感集)	市川伊三夫	[2006]	2P
「近頃の世相に想うこと」(ガバナー所感集)	市川伊三夫	[2006]	2P
[上記申込先: ロータリー文庫]			
「国際ロータリー日本人R I 理事と日本ロータリー 93年の流れ」	前岡志郎	2013	8P

[申込先: 前岡志郎 FAX(0977)26-1444]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

地区カレンダー

3 ~ 4 月

3月 識字率向上月間	
1(土)	地区職業奉仕委員会フォーラム(札幌)
2(日)	2014年3月終了米山奨学生歓送会(札幌)
3(月)	
4(火)	
5(水)	
6(木)	
7(金)	
8(土)	2014-15年度会長エレクト研修セミナー (札幌)
9(日)	2014-15年度会長エレクト研修セミナー (札幌) 地区ロータリー財団・米山セミナー(札幌)
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	札幌東RC創立55周年記念式典(札幌)
15(土)	
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	R I 第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナー (東京)
20(木)	
21(金)	春分の日
22(土)	ロータリー財団ゾーンチーム研修会議 (東京)
23(日)	
24(月)	
25(火)	
26(水)	
27(木)	
28(金)	
29(土)	第6グループIM(小樽)
30(日)	
31(月)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1(火)	
2(水)	
3(木)	
4(金)	
5(土)	
6(日)	
7(月)	
8(火)	
9(水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	2014-15年度地区研修・協議会(札幌)
14(月)	
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	第2グループIM(砂川) ~20(日)地区RYLAセミナー(札幌)
20(日)	
21(月)	
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	第3700地区(韓国・大邱)地区大会
26(土)	
27(日)	
28(月)	
29(火)	昭和の日
30(水)	

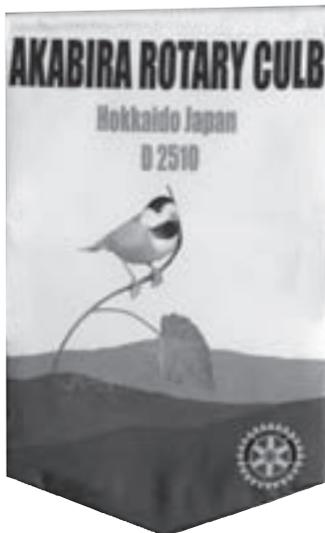
2014年3月のロータリーレート 1ドル102円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013. 7. 1	2014. 1. 31	増減	内女性	
1	深 川	3	32	34	2	2	87.75
	羽 幌	4	45	48	3	2	77.09
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	72.91
	留 萌	4	39	41	2	3	87.37
	小 計		126	135	9	7	81.28
2	赤 平	4	30	29	-1	0	74.00
	芦 別	4	36	39	3	2	71.71
	砂 川	4	44	44	0	0	91.86
	滝 川	4	80	84	4	2	78.00
	小 計		190	196	6	4	78.89
3	美 唄	4	28	32	4	0	88.08
	江 別	4	35	35	0	1	77.14
	江 別 西	4	26	25	-1	3	93.00
	岩 見 沢	4	76	76	0	0	90.26
	岩見沢東	3	22	23	1	3	80.01
	栗 沢	4	23	23	0	1	95.65
	栗 山	3	23	24	1	3	94.45
	当 別	4	28	28	0	1	88.26
	小 計		261	266	5	12	88.36
	4	札 幌	4	115	121	6	0
札幌はまなす		3	13	13	0	2	92.31
札 幌 北		3	33	35	2	4	84.85
札幌モ-ニング		4	47	45	-2	0	66.31
札 幌 西		4	52	52	0	7	86.23
札幌西北		4	32	32	0	3	87.30
札幌手稲		3	32	37	5	3	92.38
小 計			324	335	11	19	86.81
5	札 幌 東	4	117	115	-2	0	98.84
	札幌清田	4	19	19	0	5	100.00
	札幌幌南	4	52	57	5	2	100.00
	札幌真駒内	4	20	21	1	3	100.00
	札 幌 南	3	80	79	-1	0	98.73
	札幌大通公園	4	14	15	1	1	61.25
	札幌セントラル	4	6	5	-1	2	75.00
	新 札 幌	4	23	25	2	3	91.11
小 計		331	336	5	16	90.62	
6	岩 内	4	20	20	0	1	90.78
	倶 知 安	4	37	42	5	6	70.50
	小 樽	4	69	73	4	0	83.00
	小樽南	4	69	69	0	2	87.76
	小樽銭函	4	21	21	0	2	79.00
	蘭 越	3	11	12	1	0	100.00
	余 市	4	41	45	4	4	81.00
	小 計		268	282	14	15	84.58

1 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	71クラブ
	期首会員数	2,514人
	当月末会員数(女性)	2,588人(121人)
	増加会員数	74人
	当月平均出席率	83.42%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013. 7. 1	2014. 1. 31	増減	内女性	
7	千 歳	4	50	53	3	4	89.20
	千歳セントラル	4	31	35	4	3	74.29
	恵 庭	4	40	44	4	3	91.03
	北 広 島	3	16	17	1	1	88.23
	長 沼	2	20	20	0	3	82.50
	由 仁	4	7	6	-1	0	66.67
小 計		164	175	11	14	81.99	
8	え り も	4	21	22	1	1	90.91
	三 石	2	15	15	0	2	70.50
	様 似	4	24	24	0	1	73.96
	静 内	4	65	62	-3	0	63.25
	浦 河	3	28	26	-2	1	98.72
	小 計		153	149	-4	5	79.47
9	伊 達	4	53	54	1	0	79.63
	室 蘭	4	37	37	0	0	59.72
	室 蘭 東	4	35	36	1	0	83.67
	室 蘭 北	3	32	38	6	2	67.00
	登 別	4	31	31	0	1	83.87
	洞 爺 湖	3	8	8	0	0	95.80
小 計		196	204	8	3	78.28	
10	函 館	4	85	85	0	0	80.18
	函館亀田	3	39	42	3	5	95.16
	森	4	41	40	-1	0	70.00
	七 飯	4	18	18	0	0	80.50
	長 万 部	3	9	10	1	0	66.70
	函館セントラル	4	25	27	2	2	70.35
小 計		217	222	5	7	77.15	
11	江 差	4	11	11	0	1	70.40
	函館五稜郭	4	47	48	1	0	90.47
	函 館 東	4	48	49	1	6	79.41
	函 館 北	3	22	21	-1	0	95.15
	北 斗	4	15	16	1	0	56.00
	松 前	4	4	4	0	0	100.00
小 計		147	149	2	7	81.91	
12	白 老	3	29	31	2	2	82.00
	苫小牧	4	52	52	0	2	82.61
	苫小牧東	4	26	27	1	5	85.19
	苫小牧北	4	30	29	-1	3	87.56
	小 計		137	139	2	12	84.34
合 計		2,514	2,588	74	121	83.42	



1996年に市の鳥「ヤマガラ」と制定してより、今までのバナーは炭鉱の縦坑施設の建物をバックにしたものでしたので、これを機会に市の鳥「ヤマガラ」を中心にして、山と森をイメージした割りとしンプルな物にしました。



奉仕の高き理想を秀峰芦別岳に、友愛の広がり清流空知川に準えて表現しており、バナーの基に相集い活動しております。



砂川クラブ創立時に、当時市内の学校で教鞭をとっておられた一戸信雄先生に製作を依頼して出来たものである。バナーには母なる石狩川と遠景に雪渓を残したピンネシリ頂の頂が描かれており、自然のたくましさ象徴している。



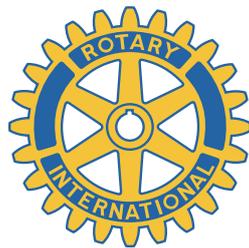
鮮やかなブルーは、石狩川と空知川に囲まれた街のイメージと、北海道の澄み切った大空を表現しました。また、滝川はグライダーのメッカと言われております。世界に羽ばたくクラブを表現したものです。



美唄には、「まがん」の日本最大の寄留地「宮島沼」があり、2000年7月に「まがん」が美唄の鳥として制定され、2002年11月に「宮島沼」がラムサール条約で湿地認定された。ラムサール条約の湿地認定を機に、夕方「まがん」が帰ってくる「宮島沼」をモチーフにバナーをデザインした。



北国の雪の白、石狩川の流れ、原始林の緑、北海道西側第2510地区、江別市の木ななかまど、煉瓦で江別の位置を表示。



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

**GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**